

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		農業委員会運営事務		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	農業の支援		種別
	基本事業	農地の有効利用		市民協働
予算科目コード		01-060101-01 補助	根拠法令・条例等	農業委員会等に関する法律

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
農業委員会は、農業委員会等に関する法律に市町村への設置が規定されている行政委員会であり、本市においては昭和31年に設置された。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
農地法に基づき、農地の権利移動や転用等の申請について審議し、農地を農地以外とすることの規制や農地の利用関係を調整することにより、農地の確保と利用促進を図る。また、農地所有者への指導等を行い、遊休化農地の防止、減少を図るとともに、農地利用の最適化を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
農業委員会は、農地を保全し農地の利用促進を図ることが主な業務である。また、農地を農地以外にすることを規制し農地の利用調整等を行っているが、農業者の高齢化や担い手不足により、遊休化農地が発生していることが問題となっている。遊休化農地の防止・減少を図るとともに、農地利用の最適化を推進する必要がある。	農地法に基づく各種申請に対しては、会長、当番委員（農業委員3名及び農地利用最適化推進委員1名）が、毎月小委員会（23日）で現地を確認し、総会（28日）で農業委員全員による審議を行う。 農地利用の最適化推進については、農地利用最適化推進委員会を中心に年に1回（8月頃）、市内全農地の利用状況を調査し、11月に遊休化農地（新規発生）の所有者に対して農地の利用意向の確認（利用意向調査）を行い、農地中間管理機構への貸付を希望しない所有者に対しては指導を行う。また、利用権設定をしていない農家台帳上の自作地についても、計画的に戸別訪問等により実態を調査し、担い手への集積を図る。
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
農地法に基づき、農地の権利移動や転用等の申請について、総会で審議し、適正な事務処理を行う。また、農地利用の最適化を図るため、農地利用最適化推進委員会を中心に、農地利用状況調査を実施し、遊休化農地所有者に対して利用意向の確認・指導等を行う。また、農家台帳上の自作地についても実態を調査する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<div><input type="checkbox"/>増加</div> <div><input type="checkbox"/>維持</div> <div><input type="checkbox"/>削減</div>	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度 of 取組（評価、課題への対応）
農地法等に基づき、適正に事務処理を行うとともに、許認可等の審査をした。 利用意向調査の結果をもとに、農業委員及び農地利用最適化推進委員により、人・農地プランの実質化に向けた意見を出し、担い手への農地の集積を図った。	農地法等に基づき、適正に事務処理を行うとともに、許認可等の審査をした。 担い手への農地の集積を推進し、遊休農地の解消や集積率の向上を図った。 利用状況調査により市内の遊休農地に関するパトロールを行うとともに、利用意向調査により、遊休農地所有者への農地の意向調査を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
農地法等に基づく 審査件数（件）	249.00	236.00	142.00	207.00	211.00	245.00	200.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<div><input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下</div>	農地法等に基づく 審査は法定事務であり、申請に基づき実施している。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<div><div><input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持</div><div><input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了</div></div>	今後も農地法等に基づく 許認可等の 審査を適正に行い農地保全に務める。						

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	13,337	12,674	12,217	14,408	14,408
	国・県支出金	882	498	772	756	756
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	12,455	12,176	11,445	13,652	13,652
正職員人工数（時間数）		2,931.00	2,272.00	2,281.00	0.00	0.00
正職員人件費		12,026	9,197	8,825	0	0
トータルコスト		25,363	21,871	21,042	14,408	14,408

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		排水機場維持管理負担金		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	農業の支援		種別
	基本事業	農地の有効利用		市民協働
予算科目コード		01-060105-03 補助	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 管理者である各土地改良区に対し、排水機場運転に係る経費の一部を負担する。
各土地改良区の排水路等に流入する既成市街地からの雨水等による湛水被害を防除するため実施している。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
各土地改良区が排水機場の維持管理及び修繕を行い、機器を良好に保つための経費の一部を負担し、農地及び周辺市街地への湛水被害の防止を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
各排水機場は、施設設置後数十年が経過し、施設長寿命化事業等により更新や補修等を実施している。しかし、近年の異常気象による台風等の豪雨時に適切に稼働する必要がある、施設の日常点検や定期点検等を確実に実施するとともに、適切な運転が重要である。	【通年】・各機場内の機器点検 ・点検結果の把握 ・点検結果による修繕等の計画 ・各土地改良区との協議 ※各改良区に維持管理負担金を支出していることから、上記作業は改良区で実施する。
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
定期点検等により各排水機場内の機器等が正常に稼働することを確認し、必要に応じ修繕を行うなど、適正な常態で保てるよう施設管理をするとともに、台風等の排水機場の運転について土地改良区と協議する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度を取組（評価、課題への対応）
排水機場の機能を安定させ、農地や農業施設の湛水被害を解消するばかりでなく、受益地内の公共施設等の湛水被害も軽減することができるため、現状の維持が必要とされる。	施設の維持管理を行う土地改良区に対し、負担割合に基づき負担した。 守谷市外二市湛水防除協議会で管理する下塚排水機場のポンプについて、3台のうち1台が経年劣化により故障し、緊急修繕工事を実施したため、修繕工事費に対して負担割合に基づき負担した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
不具合発生件数（件）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<div><input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下</div>	各土地改良区における排水機場の適正な維持管理により、施設の機能が保たれた。 下塚排水機場の故障に伴う緊急修繕工事を実施したことで排水機能が現状復帰したため、豪雨時の湛水被害を防ぐことができた。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<div><div><input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持</div><div><input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了</div></div>	各排水機場の適正な排水処理を維持し、湛水被害を軽減するため、継続してその費用の一部を負担する。						

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	5,996	6,636	13,139	6,637	6,637
	国・県支出金	85	85	85	85	85
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,911	6,551	13,054	6,552	6,552
正職員人工数（時間数）		112.00	64.00	16.00	0.00	0.00
正職員人件費		460	259	62	0	0
トータルコスト		6,456	6,895	13,201	6,637	6,637

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		日本型直接支払制度事業		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	農業の支援		種別
	基本事業	農地の有効利用		市民協働
予算科目コード		01-060105-07 補助	根拠法令・条例等	多面的機能支払交付金実施要綱 環境保全型農業直接支払交付金実施要綱

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 農業・農村を支える活動組織が行う各種作業等に対して国・県・市が交付金を給付することにより、活動を支援する。
平成19年度から、国により農地・水保全管理支払交付金制度が始まり、市内の活動組織が発足した。平成26年度から制度の拡充等により、日本型直接支払制度となった。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域内の農業者が共同で取り組む地域活動や営農活動を支援することにより、農地・水路・農道などの地域資源の適切な保全管理を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、市内の農用地全域で4つの組織が継続して活動を実施しているが、今後、高齢化の進行に伴う活動の継続が困難な状況等が生じる可能性がある。	【活動期間】 とりもつ会（守谷地区）H31.4～R6.3 ※H31.4再認定 高野環境保全活動組織（高野地区）H30.4～R5.3 大野地区田園環境保全活動組織（大野地区）H29.4～R4.3 菅生遊水みどりの会（菅生沼地区）H31.4～R6.3 ※H31.4再認定
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
農業者以外の多様な主体の参画等を進め、将来にわたり地域資源が持続的に保全管理されることが可能となるような体制づくりが必要である。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<div><input type="checkbox"/> 増加</div> <div><input type="checkbox"/> 維持</div> <div><input type="checkbox"/> 削減</div>	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度 of 取組（評価、課題への対応）
地域資源の適切な保全管理を図るために、組織が継続して活動できるように補助する。	多面的機能支払交付金については、活動を実施した4団体に交付した。4団体のうち2団体については、長寿命化事業の活動を行うことができ、地域資源の適切な保全管理が行われた。 環境保全型農業直接支払交付金については、対象活動に取り組む団体がなかったため交付はなかった。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
環境保全対象面積（ha）	431.38	384.27	435.58	435.58	435.45	430.73	436.13
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<div><input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下</div>	計画どおり、協定農用地の保全管理が行われており、良好な維持管理が図られている。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<div><div><input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持</div><div><input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了</div></div>	地域資源の適切な保全管理を図るため、継続して補助を行う。						

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	28,631	26,864	24,174	30,595	30,595
	国・県支出金	21,472	20,148	18,131	22,945	22,945
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	7,159	6,716	6,043	7,650	7,650
正職員人工数（時間数）		464.00	578.00	128.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,904	2,340	495	0	0
トータルコスト		30,535	29,204	24,669	30,595	30,595

令和 3年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		土地改良事業各種負担金	担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	年度～
	施策	農業の支援	種別	法定事務
	基本事業	農地の有効利用	市民協働	
予算科目コード		01-060105-02 単独	根拠法令・条例等	守谷市土地改良事業等補助金交付要綱

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
農業生産の基礎となる農業用水や排水等の水利用の安定と合理化を図るための事業に対し、各土地改良区地へ負担する。	土地改良施設維持管理適正化事業により実施する施設の改修に対し、一部を5年分割で負担する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
土地改良区が行う排水機場及び用排水施設の改修工事の費用を一部負担し、用水不足や排水障害の防止を図り、効果的で安全な農業を行うことを目的とする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
農地の集積により生産性が向上する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<div><input type="checkbox"/>増加</div> <div><input type="checkbox"/>維持</div> <div><input type="checkbox"/>削減</div>	

R02年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R03年度の振り返り）	
R02年度の評価（課題）	R03年度 of 取組（評価、課題への対応）
用水不足や排水障害の防止を図る改修工事に対する経費の負担であり、事業完了までは現状維持が必要とされる。	守谷土地改良区内及び高野土地改良区内の土地改良施設管理適正化事業に対し、経費の一部を負担した。 また、守谷土地改良区内の守谷第2機場（奥山ポンプ場）の故障に伴う更新工事について、経費の一部を負担した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値（R03）
改善着手率（％）	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
<div><input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下</div>	計画どおりに改修工事に着手していることにより、施設が良好に維持されている。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
<div><div><input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 維持</div><div><input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了</div></div>	土地改良区が行う土地改良事業に対し、継続して負担割合に基づき経費の一部を負担する。						

コストの推移						
項目		R01年度決算	R02年度決算	R03年度決算	R04年度予算	R05年度見込
事業費	計	0	4,017	2,506	432	432
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	4,017	2,506	432	432
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	3.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	12	0	0
トータルコスト		0	4,017	2,518	432	432